

庁舎整備に係る各契約方式について(スケジュール比較)

	26年度	27年度												28年度	29年度	30年度	特記事項					
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月									
<p>① 設計・施工分離方式 (従来方式、総合評価落札方式)</p> <p>○価格のみの入札方式ではなく、一定の技術力をもった業者を選定することとしている。</p>					実施設計									契約準備	施工者決定・工事着工	工事施工 (新築棟工事・減築改修棟工事)	設計者による工事監理				※「総合評価方式」とは、同種工事の経験、工事成績、施工に伴う安全対策、環境への影響及び工期の縮減等についての技術提案に関する事項を記述した技術資料の提出を求めることにより、施工者が持つ技術力と価格を総合的に評価し落札者を決定する入札方式です。	
<p>② 設計・施工一括発注方式 (デザインビルド方式)</p> <p>○施工者決定手続きに約1年を要し、全体の事業スケジュールが遅延する。</p>				整備手法を議会・市民へ説明		工事発注技術支援アドバイザー業務委託内容: 工事入札公告・要求水準書の作成等支援、技術支援等								契約準備	施工者決定	実施設計・工事施工(新築棟工事・減築改修棟工事)	基本設計者による監修及び第三者による工事監理 (補助金対応の積算含む)				※実施設計に係る補助金については、昨年からの千葉県と協議を進めており、平成27年度予算では41,180千円を計上している。 ・デザインビルドの採用により実施設計の開始時期を一年先送りした場合は、同様の補助金が確保できるが、実施設計期間が平成27年度から28年度の2カ年度にまたがる場合、補助金の確保が困難となる場合がある。	
<p>③ 施工予定者技術協議方式 (ECI方式)</p> <p>○施工予定者が平成27年6月上旬に決定することから、不調対応、工期短縮及び経費節減が見込める。</p>			3月・支募集要項公告技術プロポ	施工予定者決定	実施設計	実施設計技術支援									施工者決定・工事着工	工事施工 (新築棟工事・減築改修棟工事)	設計者による工事監理				○施工予定者が作成した※プロポーザル提案書の内容を第三者機関による検証を行うため、当該経費を補正予算にて計上予定。 【委託内容】 ・施工予定者から提案されるVE提案の検証(妥当性)を行う。 ・市、設計者及び施工予定者が積算した工事価格の検証を行う。 ・市、設計者及び施工予定者の会議に出席するなどの支援を行う。	
<p>工事費及び監理費に係る補助金 (各方式共通)</p>								県開始の協議		協議・打ち合わせ				本要望				申請準備				①従来方式及び③ECI方式については、27年4月に実施設計に係る補助金を申請することとなる。

消費税増税(予定)
8%⇒10%

(実施設計に係る国庫補助金要請)
白井市庁舎整備基本設計を決定

※建設工事技術審査委員会..... 入札参加者が提案した施工計画及び入札参加者の施工能力等の入札価格以外の多様な要素と入札価格を総合的に評価するため、地方自治法施行令第167条の10の2第3項、第4項及び第5項に基づき設置するもの。

※債務負担行為..... 数年度にわたる建設工事などにおいて、翌年度以降の財政支出を約束する行為。
債務負担行為を設定する場合は、事項・期間・限度額などを予算の内容として定める必要がある。

※プロポーザル..... プロポーザル方式は、主に業務の委託先や建築物の設計者を選定する際に、複数の者に目的物に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定すること。